

6日に代表者会議

M L ブンド 中大代々木寮でまた衝突

二十一日の全開会共闘主催の新入生歓迎大宴会(日比谷野外音楽堂)でのブンドとM Lの内ゲバは既報(本紙二五七号)の通りであるが、翌二十三日にも両派の抗争が起った。

二十三日、和泉校舎では、反帝戦線(ブンド)の政治集会が予定されていた。

しかし、午前十時ごろ学生解放戦線(M L)約二〇人が竹サオを待つて、中庭で集会を「いたため」反帝戦線の政治集会は流会となった。解放戦線は一時間ほどした後引き上げた。その後、午後五時ごろ中大代々木寮近くで、M L派の両校舎の集会もあつた。そこへ

約四〇人の反帝戦線の学生が、材木屋から持ち出した角材で向かい、乱闘。二十五人が窃盗、凶器準備集合罪などの現行犯で逮捕された。

また、二十四日早朝、反帝戦線約三〇人がヘルメット、竹サオを携帯して、和泉校舎に入ろうとしたところ、機動隊一五〇人が出動侵入の現行犯で逮捕された。この件に関して、大学側は積極的な「機動隊要請」はしなかった、といっている。

昨年六月、六項目要求時、および七月の全開会共闘結成時にブンドとM Lは対立したこともあつたが

これまで少女とも表面的には大小の集会など共闘して開催してきた。それがこんな騒動を招いたのは、二十一日の日比谷公園でのヤジの応酬が直接的な契機とみられる。しかしながら両派の対立

は、「決定的な段階にまでは進展しないだろう」というのが、一般的な見方である。五月六日には、和泉で代表者会議が開かれることになっておりこの時点で明らかになるものと風われる。